

# 地籍フォーマット 2000 から SIMA 共通フォーマットへ変換 説明書

2011/11/28

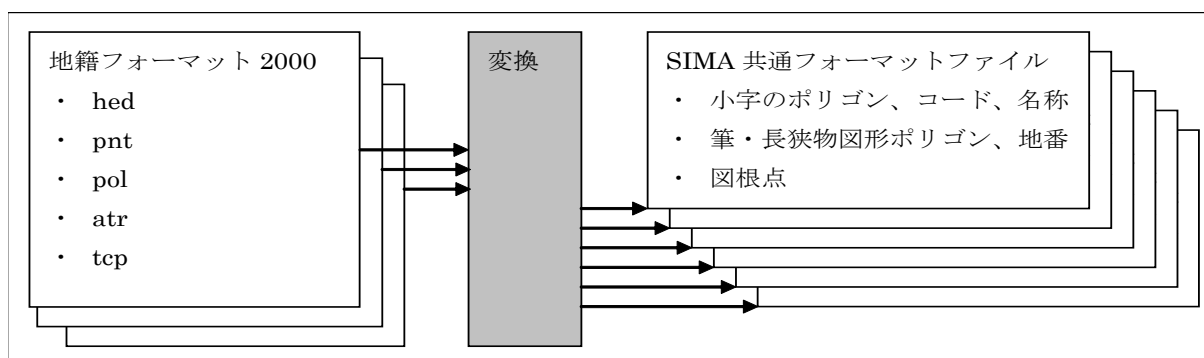
有限会社ジオ・コーチ・システムズ

<http://www.geocoach.co.jp/>

[info@geocoach.co.jp](mailto:info@geocoach.co.jp)

地籍フォーマット 2000 ファイルから SIMA 共通フォーマットファイルへの変換について説明します。

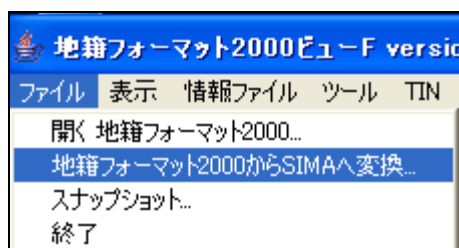
複数組の地籍フォーマット 2000 ファイルから、大字コード小字コード別に SIMA 共通フォーマットファイルを作成します。



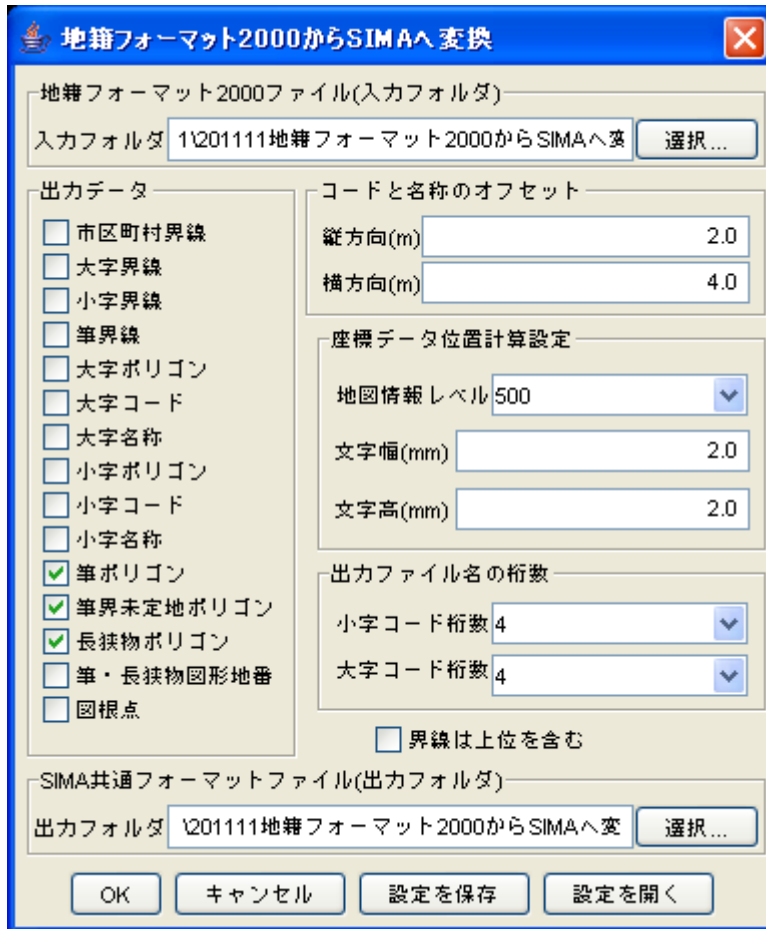
以下のソフトウェアに専用ライセンスを設定することで、変換機能が使えるようになります。

ソフトウェア名	バージョン	ビルド
地籍フォーマット 2000 ビューF	6.0.5 α	2011/11/28

専用ライセンスが設定されていると、メニュー[ファイル]-[地籍フォーマット 2000 から SIMA へ変換]を表示します。

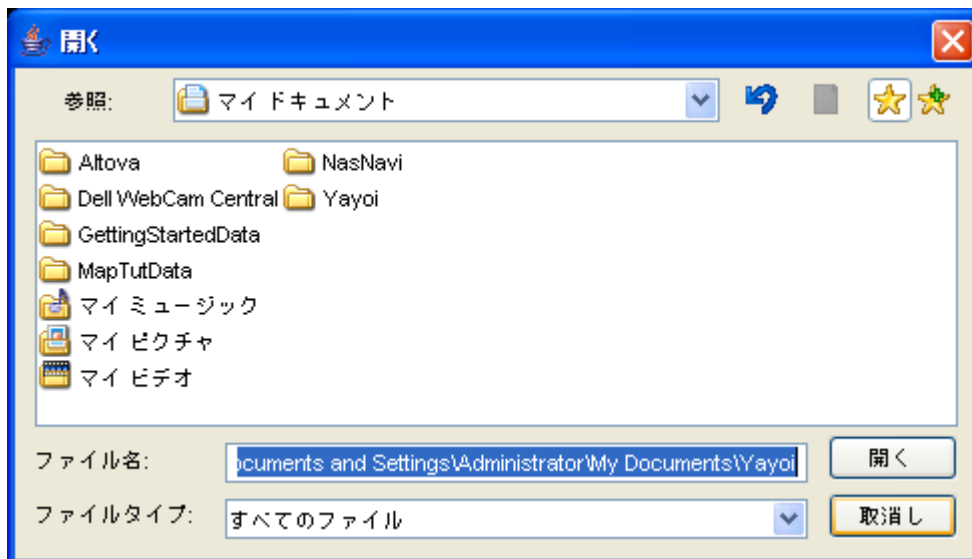


このメニュー[ファイル]-[地籍フォーマット 2000 から SIMA へ変換]で、変換ダイアログを表示します。



### 【地籍フォーマット2000 ファイル(入力フォルダ)】

地籍フォーマット2000ファイルを含むフォルダを指定します。選択ボタンを押し、ダイアログでフォルダを選択してください。選択されたフォルダ名が左側に表示されます。



フォルダに含まれる地区別情報ファイル(拡張子.hed)を参照し、同じ名前の pnt, pol, atr, tcp などをリードします。リードしたファイル名を、ウィンドウ下の[レポート]パネルに表示します。

地籍フォーマット2000からSIMAへ変換開始...		
市町村名=XXXXXXXXXX		
座標系=3		
調査地区名=XXXXXXXXXX		
バージョン=Ver. 1. 0		
D:\work\2011\201111地籍フォーマット2000からSIMAへ変換\0_f2\34501_2001_21.hed(地区別情報ファイル)をリードしました		
D:\work\2011\201111地籍フォーマット2000からSIMAへ変換\0_f2\34501_2001_21.map(地図番号情報ファイル)をリードしました		
D:\work\2011\201111地籍フォーマット2000からSIMAへ変換\0_f2\34501_2001_21.pnt(筆界点情報ファイル)をリードしました		
D:\work\2011\201111地籍フォーマット2000からSIMAへ変換\0_f2\34501_2001_21.pol(筆・長狭物図形情報ファイル)をリードしました		
D:\work\2011\201111地籍フォーマット2000からSIMAへ変換\0_f2\34501_2001_21.atr(筆属性情報ファイル)をリードしました		
D:\work\2011\201111地籍フォーマット2000からSIMAへ変換\0_f2\34501_2001_21.cos(共有者情報ファイル)をリードしました		
D:\work\2011\201111地籍フォーマット2000からSIMAへ変換\0_f2\34501_2001_21.und(筆界未定構成筆属性情報ファイル)をリードしました		
D:\work\2011\201111地籍フォーマット2000からSIMAへ変換\0_f2\34501_2001_21.tcp(図根点情報ファイル)をリードしました		
D:\work\2011\201111地籍フォーマット2000からSIMAへ変換\0_f2\34501_2001_21.lin(仮行政界線情報ファイル)をリードしました		
ガイド	レポート	チェックリスト

## 【出カデータ】

出力する SIMA 共通フォーマットファイルに内容は「座標データ」と「画地」です。画地の画地種別は閉合型と開放型の両方があります。

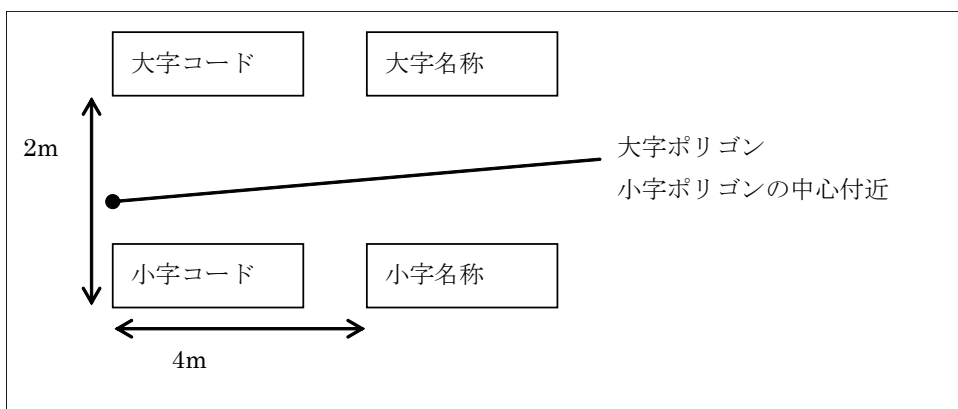
ダイアログの項目	区分	画地種別	内容
市区町村界線	画地	開放型	筆・長狭物図形の線分種別「市区町村界線」の線分
大字界線	画地	開放型	筆・長狭物図形の線分種別「大字界線」の線分
小字界線	画地	開放型	筆・長狭物図形の線分種別「字界線」の線分
筆界線	画地	開放型	筆・長狭物図形の線分種別「筆界線」の線分
大字ポリゴン	画地	閉合型	小字ポリゴンと同じ形状
大字コード	座標データ		大字コードを大字ポリゴンの外周の中央付近に出力
大字名称	座標データ		大字コードを大字ポリゴンの外周の中央付近に出力
小字ポリゴン	画地	閉合型	同じ大字小字の筆・長狭物図形全体を囲むポリゴンを右回りで出力。飛び地がある場合、複数のポリゴン(外周)を出力。筆・長狭物図形の抜けがある場合、内周となるポリゴンを左回りで出力。
小字コード	座標データ		小字コードを小字ポリゴンの外周の中央付近に出力
小字名称	座標データ		小字名称を小字ポリゴンの外周の中央付近に出力
筆ポリゴン	画地	閉合型	筆・長狭物図形と対応する筆属性の筆状態が「筆」 「地番」に地籍フォーマット2000の「地番」をセット
長狭物ポリゴン	画地	閉合型	筆・長狭物図形と対応する筆属性の筆状態が「長狭物」と「白地」 「地番」に地籍フォーマット2000の「地番」をセット
筆界未定地ポリゴン	画地	閉合型	筆・長狭物図形と対応する筆属性の筆状態が「筆界未定地」 「地番」に地籍フォーマット2000の「地番」をセット
筆・長狭物図形地番	座標データ		筆ポリゴン、長狭物ポリゴン、筆界未定地ポリゴンについて、中央付近に地番を出力します。地番にハイフンが複数ある場合、2番目以降のハイフンを削除します。また、全角の英数字記号を半角に変換します。 例「道 - 1 - 1」⇒「道-11」
図根点	座標データ		図根点の座標

### 【コードと名称のオフセット】

大字コード、大字名称、小字コード、小字名称を座標データで出力できますが、その位置を指定します。

コードと名称のオフセット	
縦方向(m)	2.0
横方向(m)	4.0

上図の設定(2mと4m)では、大字コード、大字名称、小字コード、小字名称の注記は次のような位置関係になります



### 【座標データ計算設定】

大字コード、大字名称、小字コード、小字名称、筆・長狭物地番などの座標データの位置を計算する際に、もしこれらの文字列をテキストとして表示するならば、そのサイズを指定します。設定内容は「地籍フォーマット 2000 ビュー」のメニュー[ツール]-[地番テキスト配置]と同じです。

座標データ位置計算設定	
地図情報レベル	500
文字幅(mm)	2.0
文字高(mm)	2.0

### 【出力ファイル名の桁数】

出力する SIMA 共通フォーマットファイルは「0021\_0213.dat」等、大字コードと小字コードの組み合わせになります。この「0021」とか「0213」の大字コードと小字コードの桁数を指定します。

出力ファイル名の桁数	
小字コード桁数	4
大字コード桁数	4

### 【界線は上位を含む】

出力する市区町村界線、大字界線、小字界線、筆界線について、地籍フォーマット 2000 の筆・長狭物図形の上位の界線を含むかを指定します。

出力 NIF2	OFF	ON
---------	-----	----

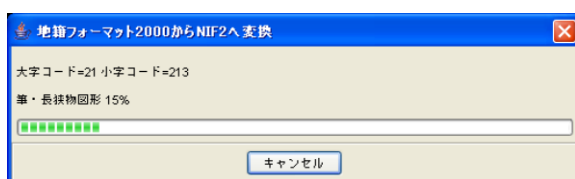
市町村界線	筆・長狭物図形の市町村界線のみ	筆・長狭物図形の市町村界線のみ
大字界線	筆・長狭物図形の大文字界線のみ	筆・長狭物図形の市町村界線, 大字界線
小字界線	筆・長狭物図形の字界線のみ	筆・長狭物図形の市町村界線, 大字界線, 字界線
筆界線	筆・長狭物図形の筆界線のみ	筆・長狭物図形の市町村界線, 大字界線, 字界線, 筆界線

### 【SIMA 共通フォーマットファイル(出力フォルダ)】

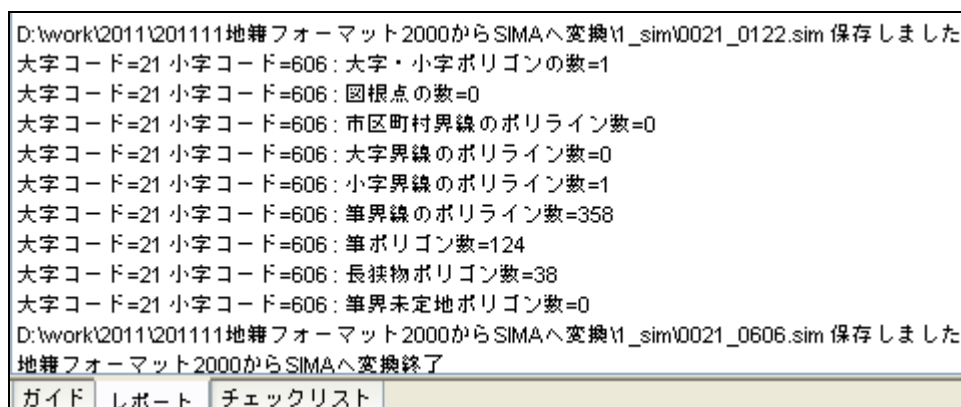
SIMA 共通フォーマットファイルを保存するフォルダを指定します。選択ボタンを押し、ダイアログでフォルダを選択します。

SIMA 共通フォーマットファイル大字コードと小字コード別に作成し、ファイル名は指定された桁数で「大字コード + “\_” + 小字コード + “.sim”」とします。例えば、桁数が4の場合、「0021\_0213.dat」となります。

処理中は大字コード・小字コード毎に進捗状況を表示します。



保存した SIMA 共通フォーマットファイルの情報を[レポート]パネルに表示します。



以下、このメニュー全体についての説明です。

- ・ 同じ大字コード小字コードの筆・長狭物が複数の地籍フォーマット 2000 ファイルに分かれている場合も、ひとつの SIMA 共通フォーマットファイルにまとめます。
- ・ 市区町村界線、大字界線、小字界線、筆界線の線分が連続している場合、接続しポリラインとして出力します。
- ・ 地籍フォーマット 2000 では、隣接する筆の筆界線が重なっていますが、SIMA には重複なしで出力します。
- ・ 図根点は小字ポリゴンの中に含まれるか外周上の点のみを出力しています。従って、外周上の図根点は、隣接する小字の SIMA 共通フォーマットファイルにも同じ点が出力されることになります。
- ・ 項目名のチェックボックスが OFF になっている場合、SIMA 共通フォーマットファイルには出力しません。ON/OFF をレポートパネルに○/×で表示します。

×	市区町村界線
×	大字界線
×	小字界線
×	筆界線
×	大字ポリゴン
×	大字コード
×	大字名称
×	小字ポリゴン
×	小字コード
×	小字名称
○	筆ポリゴン
○	長狭物ポリゴン
○	筆界未定地ポリゴン
×	筆・長狭物図形地番
×	図根点

ガイド レポート **チェックリスト**

### 筆ポリゴン、長狭物ポリゴン、筆界未定地ポリゴン

- 筆・長狭物図形で筆状態が「筆」「筆界未定地」「白地」「長狭物」の場合、ポリゴンと地番を出力します。筆状態が「現地確認不能」「表示登記」「滅失」「不存在」「その他」に場合、ポリゴンも地番も出力しません。筆・長狭物図形に対応する筆属性がない場合、筆状態の「筆」「筆界未定地」「白地」「長狭物」が取得できないので出力しません。その際、その旨を[レポート]パネルに表示します。筆状態が空白あるいは0の場合(1 から9以外)、地番で判定します。地番の最初の文字列が次表の場合それぞれの筆状態とし、それ以外の場合は「長狭物」とします。

地番の最初の文字列	筆状態
「白地」	白地
「筆界未定」	筆界未定地
「道」	長狭物
「水」	長狭物
「堤」	長狭物
「不」	不存在
最初の文字が「0」から「9」の数字	筆

### その他

ダイアログの設定はOKボタンが押された時点で記録し、次回起動時のデフォルトになります。

筆・長狭物図形のポリゴンから注記の座標が計算できないなど、なんらかの問題が発生した場合、[レポート]パネルにその旨を赤字で表示します。